

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

今を時めくヤマカズとスペインの巨匠が競演。
時空を超えて響き合い、未だ見ぬ世界が現れる。

シェエラザード

魅惑的なメロディによる絢爛豪華な音楽絵巻

©Jean-Baptiste Millot

ラトル指揮ベルリン・フィルとの共演で絶賛された
来日時86歳となるスペインの国宝級ピアニスト

ピアノ: **ホアキン・アチュカロ**

Piano = Joaquín Achúcarro

ラヴェル: 高雅で感傷的なワルツ

RAVEL: Valses nobles et sentimentales

ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調

RAVEL: Piano Concerto in G major

リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」 作品35

RIMSKY-KORSAKOV: Scheherazade, op. 35

読売日本交響楽団 第213回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 213

2019年 **1月12日** (土) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Saturday, 12th January 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
SY7,500 AY5,500 BY4,500 **C SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第213回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 213

2019年 **1月13日** (日) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Sunday, 13th January 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
SY7,500 AY5,500 BY4,500 **CY4,000**

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390**

<https://yomikyo.or.jp/>

(10時~18時・年中無休/年末年始を除く)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

湧き上がる情熱と巧みなタクトで聴衆を魅了する俊英
名門モンテカルロ・フィルやバーミンガム市響で活躍!

指揮: **山田 和樹**

(読響・首席客演指揮者)

Conductor = Kazuki Yamada (YNSO Principal Guest Conductor)

コンサートマスター: 小森谷 巧

Concertmaster = Takumi Komoriya

未来を拓く山田和樹が華麗に描く音楽絵巻。 “スペインの国宝” アチュカロが共演！

いま最も勢いに乗っている山田和樹が、読響の首席客演指揮者として《土日マチネーシリーズ》に初登場する。ブザンソン国際コンクール優勝後、欧州で着実にキャリアを積み、人気も上昇中。スイス・ロマン管の首席客演指揮者を経て、現在はモナコ公国の名門モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督などを務めている。山田の指揮の持ち味は、理性と狂気のバランスだ。繊細で豊かな色彩感による上品かつ風格ある表現をする一方、魂をえぐるような大胆なアプローチで作品に秘められた狂気をあぶり出す。今回、ラヴェルとリムスキー＝コルサコフ作品を並べたプログラムで、山田はオーケストラを巧みにドライブし、その実力を遺憾なく発揮するだろう。

メインの「シェエラザード」は、アラビアンナイトの名でも知られる「千夜一夜物語」を基にしたリムスキー＝コルサコフの代表作。異国情緒あふれる旋律が美しく、各楽器の持ち味を活かした多くのソロをご堪能いただきたい。中でも、コンサートマスターの独奏による艶やかな音色と超絶技巧に注目だ。山田のタクトは豊潤なサウンドを引き出し、会場を幻想的な物語の世界へと誘う。絢爛豪華な音楽絵巻をお楽しみいただきたい。

前半、スペインの国宝級ピアニスト、アチュカロとの共演にも期待が高まる。来日時には86歳、音楽の奥義を知り尽くした現代最高峰の巨匠だ。ベルリン・フィルとの共演でも絶賛され、指揮者ラトルにも「あの独特な音色は、今ではほんの僅かなピアニストしか持っていない」と称えられた。16年の読響との共演の際、巨匠の至芸に日本の聴衆は舌を巻き、感服した。今回はジャズやスペイン音楽の要素も散りばめられたラヴェルの傑作で、多彩な響きを披露する。熟練の技が生み出す深みのある名人芸を、お聴き逃しなく。

開幕はラヴェル「高雅で感傷的なワルツ」。洗練された美しさの中に、知的さと官能性を織り交ぜた8つのワルツが折り重なる。鮮やかな響きが彩る休日の午後、感動と興奮のステージが待ち遠しい。



©読響

指揮：**山田 和樹**（読響・首席客演指揮者）
Conductor = Kazuki Yamada (YNSO Principal Guest Conductor)



©Jean-Baptiste Millot

ピアノ：**ホアキン・アチュカロ**
Piano = Joaquín Achúcarro

国際的に活躍する日本が誇る次世代の旗手。2018年4月より読響首席客演指揮者を務める。1979年、神奈川県生まれ。東京芸術大学指揮科卒業。松尾葉子、小林研一郎の両氏に師事。2009年、ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー、M.ブラッソンの代役でバリ管を指揮して絶賛された。ベルリン放送響、サンクトペテルブルク・フィル、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。17年にはベルリン・コーミッシェ・オーパーにデビューを果たし、好評を博した。スイス・ロマン管首席客演指揮者を経て、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督の任にある。ベルリン在住。

世界の権舞台で活躍してきたスペインの現代最高峰のピアニスト。1932年、ビルバオ生まれ。早くからスペイン、フランス、イタリアなどの国際コンクールで入賞。これまでアバド、デイヴィス、メータ、小澤征爾、シャイー、ラトルらの指揮で、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、シカゴ響、ベルリン・ドイツ響、フランス国立管、ミラノ・スカラ座管、BBC響などと共演。数多くの録音を残しており、ロドリゴのピアノ協奏曲をリリースして話題を呼んだ。映像には、ラトル指揮ベルリン・フィルとの共演を収録したDVD「ファリャ&フレンツ」などがある。スペインでは最も権威ある芸術賞の数々を受賞しており、2003年にはスペイン国王フアン・カルロス1世から国家功労十字勲章を授与された。読響とは1990年、2016年に続き3度目の共演。

読売日本交響楽団 第213回 土曜マチネーシリーズ

2019年 **1月12日** (土) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ~~¥3,500~~ **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第213回 日曜マチネーシリーズ

2019年 **1月13日** (日) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（※駅地下通路2b出口と直結しています）

【観客へのお願い】東京芸術劇場には一時託児施設があります（公演1週間前までに予約）。わらべうた0120-415-306（予約受付：平日9時-17時）

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時～18時・年中無休（年末年始を除く）

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択可／チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296